

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民の安全安心の確保		目標年度	—				指標の設定理由				
	数値	—							市民の安全安心の確保が必要であるため				
活動指標	指標	a	災害出動数		b	訓練回数		c			d		
	数値	目標	—		目標	6回		目標			目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
市民の安全安心の確保		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 災害出動数	回	33 回	28 回	34 回
		—	—	—
b 訓練回数	回	8 回	5 回	6 回
		133.3 %	83.3 %	100.0 %
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
団員の高齢化やサラリーマン化等により団員確保がますます困難になってくる。
対応（改善点等）
各種訓練を重ね、団員の技能、知能レベルを上げ地域防災力の向上を図る。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

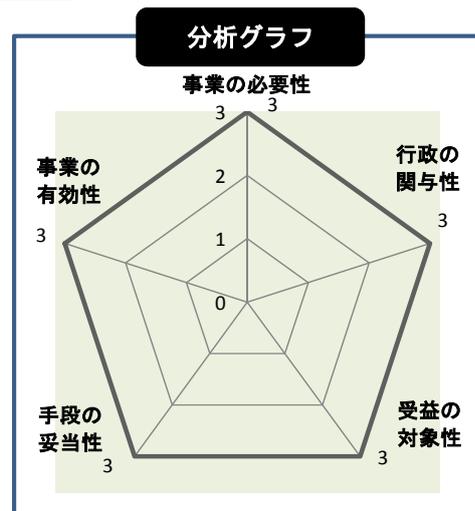
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		122,540	97,314	93,720	102,317
		92,421	97,207	93,166	102,314
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	192	107	375	3
	一般財源	122,348	97,207	93,345	102,314
うち経常		92,421	97,207	93,166	102,314
事業費に係る人件費		15,050	24,475	18,481	26,303
事業費に係る人役		3.50	5.70	4.24	5.93

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
災害時において、消防団の技能と知識のレベルアップを図り地域防災力の向上を継続的に図るため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の責務である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市が担う事業。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 安全を確保し災害被害を軽減する。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 災害時の迅速な対応であり妥当である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 市民の生命財産を守る責務がある。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適正な事業実施を図りつつ、地域防災力の向上に努めること。